

発話の冒頭で使われる「まあ（ね）」について

著者	加藤 恵梨
雑誌名	言語資源活用ワークショップ発表論文集
巻	4
ページ	85-93
発行年	2019
URL	http://doi.org/10.15084/00002557

発話の冒頭で使われる「まあ（ね）」について

加藤 恵梨 (大手前大学) †

On the utterance-initial "Maa(ne)"

Eri Kato (Otemae University)

要旨

本研究は、『名大会話コーパス』を調査対象とし、「まあ（ね）」が発話の冒頭で使われる場合、どのような意味および用法を有するのかを調査・分析することを目的とする。『名大会話コーパス』で「まあ（ね）」が発話の冒頭で使われている事例は691あった。まず、先行研究の検討をもとに、「まあ」の基本的意味は、相手の発言を受けとめ、とりあえずの反応を示すとともに、その話題について積極的に話を展開するつもりはないという態度を示すことであると述べた。この積極的に話を展開するつもりはないという態度が文脈によって様々な用法を帯びる。また、「まあ（ね）」が発話の冒頭で使われる場合、回答要求文に対する応答と、平叙文・感嘆文に対するコメントで使われている。前者においては、「消極的肯定・同意」「消極的否定・反論」「直接性回避」「応答回避」「視点転換」という用法があることが分かった。一方後者においては、「共感・同意」「意見・考え」「譲歩」「(控えめな)反論・訂正」「補足」という用法があることが分かった。

1. はじめに

「まあ（ね）」は談話で用いられ、多くの用法や機能を有することが先行研究で指摘されている。本研究は『名大会話コーパス』をもとに、先行研究において「応答型用法」と呼ばれる、発話の冒頭で使われる「まあ（ね）」の用法および機能について調査・分析することを目的とする。

2. 先行研究の記述とその検討

2.1 先行研究の記述

「まあ」についての先行研究は多く存在する(川上(1993, 1994)、加藤(1999)、富樫(2002)、川田(2007)、山田(2013)、柳澤・馮(2019)など)。先行研究で「まあ」についてどのように記述されているかを、談話における「まあ」の用法と機能について詳述している川上(1993, 1994)によって確認する。

川上(1993: 72)は「まあ」の基本的な意味について「『いろいろ問題はあるにしても、ここではひとまず大まかにひきくくって述べる』という『概言』という姿勢・態度に求められる。この『概言』という姿勢が、場合によってさまざまな意味の姿となって現れてくる」と述べている。また、川上(1993: 70)は、談話における「まあ」の用法を「応答型用法」と「展開型用法」とに分類している。「応答型用法」は、次の(1)のように「まあ」が発話の冒頭に位置し、話し手と聞き手の役割が頻繁に交替する交替型の談話形態において見られる。相手の発話内容に対する受け取り方を表示しつつ、自分の発話内容を展開させていく用法である。一方の「展開型用法」は、次の(2)のように、話し手の一発話が比較的長く続き、話し手聞き手関係がある程度固定した状態の固定型談話に多く、自分の主張・見解をいかに展開させて聞き手に伝えるかに焦点がある。本研究で検討するのは(1)のような「応答型用法」である。

†erikato@otemae.ac.jp

- (1) A: だって、俺、おまえ、金パーやで。
B: まあ、そや、えらい損やわなあ。
(2) そのとき、誰か言ってましたよ。ここで歌うたってた人がいるって。ま、どんな人か知りませんよ。ここで誰かが歌うたってたって言ってましたけど。

(川上 1993: 70)

さらに川上(1993: 72-76)は、先行文が判定質問文、説明要求質問文、依頼文・勧誘文、平叙文・詠嘆文の四つの場合について「まあ」の用法を次のように分類している。

1. 判定要求質問文に対する応答

消極的肯定・同意

- (3) A: 離婚届けはもう出したんですか。
B: まあ、そういうことですね。/まあ、そうです。

消極的否定・反論

- (4) A: こういううるさい場所はお嫌いですか。
B: まあ、そうでもないんです。

応答回避

- (5) A: 恋人はいるんですか。
B: まあまあ、いいじゃないですか。

質問や同意要求のなかには、個人的な問題など応答者が感情的に答えたくない内容、あるいは事情が複雑で今すぐには答えにくい内容などを持つものがある。すぐには答えられない問題に対してはとりあえず大まかに答えるしかない。そのような状況下で「まあ」は用いられる(p.72)。

2. 説明要求質問文に対する応答

適当な応答

- (6) A: 最近調子はどうですか。
B: まあまあですね。/まあね。/まあ、ぱっとしませんね。

直接性回避

- (7) A: どんな学科が得意でしたか。
B: まあ、英語ですねえ。

視点転換

- (8) A: どうしてそういうことが起こるんでしょうか。
B: まあ、それはやっぱり当然じゃないでしょうか。

応答回避

- (9) A: どんなところがお好きなんですか。
B: まあまあ、いいじゃないですか。/いや、まあ。

言いよどみ

- (10) A: どんなところがお好きなんですか。
B: まあ、あのう、やっぱり、全体的にですねえ、明るくて、～

説明要求質問文の場合も、基本的には判定要求質問文の場合と同じようにすぐには答えにくい質問に対して「まあ」が用いられる(p.73)。

3. 要請・勧誘文に対する応答

消極的承諾

(11) A: ちょっといまからお宅にうかがってもいいでしょうか。

B: まあ、いいですよ。／ええ、まあ。

婉曲的断り

(12) A: こんど、どっか遊びに行かない。

B: まあ、考えておきます。／まあねえ、……

応答無視

(13) A: あのう、もう取材はやめていただいて、そっとしておいていただきたいんですけども。

B: まあ、あのう、殿下ご自身がですねえ、まあ、小和田さんのことを大変気に入っていらっしゃるという情報が伝わってきたり、また、～

要請・勧誘に対する応答は、それに対して受け入れる場合と断る場合、さらにそのどちらでもなく応答そのものを無視する場合とが考えられる(p.74)。

4. 平叙文・詠嘆文に対する反応

共感・同情

(14) A: 眠いよう。

B: まあ、そうやろねえ。／まあねえ、きのう寝てないだもんねえ。

なだめ

(15) A: もう、あんな会社やめてやる。

B: まあまあ、抑えて抑えて。

意見・忠告

(16) A: ぼく一、お金もらえずや。

B: まあ。他でもうけてっから、ええがな。

諦め

(17) A: あ、葉書出し忘れた。

B: まあ、しゃあないな。

譲歩

(18) A: ゆみちゃんて、ほんとかわいい子だね。

B: ま一、かわいいというのはいいんですけどね、仕事もちゃんとしていただかないと。

推定・見解

(19) A: 曙、優勝です。

B: まあ、これで横綱になれるでしょう。

切り捨て

(20) A: あと五分しかない。

B: まあ、間に合わんで。／まあ、無理でしょうね。

ここでの「まあ」は応答というような受動的なものではなく、むしろ積極的に自分の発話を展開するための何らかの前置き表現となっている(p.75)。

2.2 先行研究の検討

川上は「まあ」の基本的な意味について『『いろいろ問題はあるにしても、ここではひとまず大まかにひきくくって述べる』という『概言』という姿勢・態度に求められる。この『概

言』という姿勢が、場合によってさまざまな意味の姿となって現れてくる」と述べていた。しかし、川上の挙げている(3)から(20)を見ると、上の四つのいずれの場合においても、「まあ」は相手の発言を受けとめ、とりあえずの反応を示すとともに、その話題について積極的に話を展開するつもりはないという態度を示している。この積極的に話を展開するつもりはないという態度が文脈によって様々な意味を帯びるのであると考えられる。

また、川上は先行文が判定質問文、説明要求質問文、依頼文・勧誘文、平叙文・詠嘆文の四つの場合について「まあ」の用法を分類していた。判定質問文、説明要求質問文、依頼文・勧誘文はいずれも、聞き手に回答を求める文である。よって、本研究ではこれらを回答要求文とし、先行文を回答要求文と平叙文・感嘆文の二つに分けて「まあ」の意味・用法を分析する。

さらに、判定質問文、説明要求質問文、依頼文・勧誘文を回答要求文としてまとめると、「まあ」の用法もいくつかにまとめることができる。まず、「3. 要請・勧誘文に対する応答」に挙げられている「消極的承諾」は話し手の発言内容に消極的に同意することであり、「1. 判定要求質問文に対する応答」の「消極的肯定・同意」と同じ機能を果たしている。このことから、回答要求文には「消極的肯定・同意」の用法があると言える。また、「2. 説明要求質問文に対する応答」に「適当な応答」と「直接性回避」が挙げられているが、両者ともに質問に対して何かしらの回答はしているものの、その内容が質問に対する直接的な回答ではないという点で共通している。よって、これらは「直接性回避」の用法にまとめることができる。さらに、「3. 要請・勧誘文に対する応答」に「婉曲的断り」と「応答無視」が挙げられているが、「婉曲的断り」と「応答無視」の例を見ると、要請されている内容に応えることを回避し、関連する別の話題に話をそらしている。これらは「応答回避」に分類することができる。加えて、「2. 説明要求質問文に対する応答」に「言いよどみ」が挙げられているが、これは直接的に回答することを回避しているため、「直接性回避」に含まれる。

同様に、平叙文・感嘆文においても、「まあ」の用法をいくつかにまとめることができる。「意見・忠告」「なだめ」「諦め」「推定・見解」「切り捨て」はいずれも、相手の発言に対して話し手の意見や考えを述べている。よって本研究では、それらを「意見・考え」という用法として考える。このことから、平叙文・感嘆文に対しては「共感」「意見・考え」「譲歩」という用法があると言うことができるが、それ以外の用法はないのかについて、実例をもとに分析する必要がある。

以下では、『名大会話コーパス』をもとに、まず回答要求文に対する応答として「まあ(ね)」が使われる場合の用法を分析する。続いて、平叙文・感嘆文において、「まあ(ね)」はどのように用いられているのかを分析する。

3. 「まあ(ね)」の分析

『名大会話コーパス』で「まあ(ね)」が発話の冒頭で使われている事例は691あった。以下では、「回答要求文に対する応答」として使われる場合と、「平叙文・感嘆文に対するコメント」として使われる場合に分けて分析する。

3.1 回答要求文に対する応答

まず、回答要求文に対する応答について分析する。『名大会話コーパス』においても、「消極的肯定・同意」「消極的否定・反論」「直接性回避」「応答回避」「視点転換」が見られた。以下で、それぞれについて見ていく。

3.1.1 消極的肯定・同意

(21) M013: うん。9か月ってどんな感じ。うちが今3か月でしょう。

- M011: うん。見たことなかったっけ？
M013: ないない。何、C家の血が濃く入ってる？
M011: あの、性格はC家の血が入っててね、(まじ) 見た目はね、あっちの(それいいの?) いや、あんまりよくない。
M013: <笑い>うそー。(うん) C家の方がいいわけ? 顔的に。
M011: まあ似たりよったりだけどね。
M013: <笑い>相当レベルが。 (data116)

(21)は、子供の見た目が妻の家の方に似ていることについて「あんまりよくない」と述べた後、あなたの家(C家)の方が顔的に良いのかと尋ねられ、「まあ似たりよったりだけどね」と答えている。ここでの「まあ」は、C家の方が顔的に良いということを消極的に肯定していると考えられる。

3.1.2 消極的否定・反論

- (22) M013: もう旅行熱冷めた？
M011: まあ行きたいことは行きたいけど。
M013: どこ? インドか。
M011: とっても行きたい、ここへ行きたいというのはないね。(おおー) 国っていうか、見たい遺跡とかはある。 (data116)

(22)は「もう旅行熱冷めた」という質問に対して、「いいえ、冷めていない」というように明確に否定するのではなく、行きたい気持ちがあるということを控え目に述べることで、質問を消極的に否定している。

3.1.3 直接性回避

- (23) F021: それは何。事故かなんか。
F155: ううん、違う。1回車売っちゃってさ、車持ってなかったんだよ。
F021: そうなの。何で? お金が欲しかったの?
F155: まあ一なー。
F021: だいじょうぶ? どうかあったんじゃない?
F155: だいじょうぶ、だいじょうぶ。 (data026)

(23)は「お金が欲しかったの」という質問に対して「まあ一なー」と応答しているが、質問内容に対しては直接回答していない。これは「直接性回避」であると言える。

3.1.4 応答回避

- (24) F135: トラベル。
M032: いろいろあるわけですが。うーん。
F135: で、新婚旅行どこ行く。
M032: まあ、結婚の話も尽きないわけですが。
F135: <笑い>ね、なんで、話そらすの。(ああ) 旅行でしょ。
M032: 旅行といってもいろいろありますがー。
F135: 慰安旅行。 (data126)

(24)は「新婚旅行どこ行く」という質問に対して「まあ、結婚の話も尽きないわけですが

ますが」と答え、どこに行くかについても、新婚旅行に関しても回答していない。これは「応答回避」である。

3.1.5 視点転換

(25) M025 : Lだって無口なの、俺ほとんどしゃべったことねえけど、無口で、まあ、パッと見。

F021 : でも、何か生意気な感じじゃなかったっけ？バスケの感じが。(うん)俺に全部パスよこせみたいな感じで。

M025 : まあ、うめえもんで。俺ももうそのときはへろへろなって。

F021 : うまいんだけど、でも結構生意気っぽい感じでしょう、先輩には。私はやったことないけど。

M025 : しゃべったことないから、わかんない。(data025)

(25)は友人Lについて「何か生意気な感じじゃなかったっけ」と聞かれ、「まあ、うめえもんで」と答えている。(25)は相手の質問に直接回答せず、Lはバスケットボールが上手であるということを述べ、視点を転換している。

3.2 平叙文・感嘆文に対するコメント

次に、平叙文・感嘆文に対するコメントについて分析する。平叙文・感嘆文に対するコメントとして「まあ(ね)」が使われる場合、先行研究をもとに検討した「共感」「意見・考え」「譲歩」という用法だけではなく、「同意」「(控えめな)反論・訂正」「補足」という用法もある。以下で、それぞれについて見ていく。

3.2.1 共感・同意

(26) F032 : 学生はもうほったらかしちゃったから。

が、学生ってほらそのときそのときの流行に乗るじゃない。

一番最初はさー、わたしびっくりしたんだけど、みんなその、何ていうのかしら、あの一、語いとかさ、そんなのばかりやってたのね。もうちょっと、あの一、全体的なことやりやいいのにと。うん)そ、そしたらその次はさ、(うん)それこそ高校生相手なんだから、(うん)高校生がどういいう語い使ってるかってそっちの方をやってくれりやいいのに、(うん)もう、何か、そのいわゆる談話的なことをやっちゃってさ。(うん、うん)

F098 : まあね、はやりはあるからね。

F032 : そうそうそうそう、うん、だから私がじゃあ残ったとこをやるかと思ってさ。(うん)もったいないから (data008)

(26)は相手の意見に対する共感を表すのに「まあね」が用いられている。

また、次の(27)のように、相手の意見に同意する際にも「まあ(ね)」が使われる。

(27) M025 : 島田?

F015 : いつも島田止まり、乗っちゃてさ。

F021 : 何で、確認しなよ、ちゃんと。浜松まで行くかどうか。

M025 : いいじゃん、でも途中で止まるなら。

F021 : まあね、行き過ぎちゃうよりはね。

M025 : 俺、新横浜行った。(data025)

(27)は、話し手の「何で、確認しなよ、ちゃんと。浜松まで行くかどうか」という発言に対して相手から「いいじゃん、でも途中で止まるなら」と反論され、その意見を受け入れる際に「まあね」を用いている。

(27)のような同意も、(26)で見た共感も、相手の意見を受け入れるという点で一致している。よって、「まあ(ね)」は相手の意見に共感・同意する際に用いられるとすることができる。

3.2.2 意見・考え

(28) F028: ここでも雑音は入ってるけど。

F004: 上行ってあそこにしようかー。何か近くにー。うん、とりあえず近くにありそうなー。

F028: まあ、あそこで別に普通に雑談してる分には周りは、何にも思わないと思う。

F004: うーん。そうかなー。いいかなー。あっ、すみません。今からすぐ出ますから。よし、じゃ、ハプニング。<笑い> (data016)

(28)は、相手の発言について控えめに意見を述べる際に「まあ」が用いられている。

3.2.3 譲歩

(29) F004: だってあれ、チャイルドシート乗ってるんでしょ？それなりに場所取るじゃん。

F018: でもチェロキーでも2人乗れるんでしょ。

F006: 今度のチャイルドシート小さいから。

F018: 小さいんだよ。(ふうん) だから乗るよ。

F004: まあ、私はどっちでもいいですけどね。

F018: 乗れるよ。すごいいいところだよ。

F004: ふうん。(data013)

(29)は話し合いを終結させるために、自身の主張を抑えている。これは「譲歩」の用法である。

3.2.4 (控えめな) 反論・訂正

(30) F067: どうだろう。私の。

F005: 止めた地点で出して、ほかの人にその止めた状態で(うん)渡すってことは(うん)できるかっていうことだよな。

F004: うん、そう、そう、そう、そう、そう。うん。あるいは止めた地点でもう1度そこから、その地点から再生するか、うん、てことができるかしら。うん。そう、それがすっごい不便でー、何かCDになったとかいって最初は喜んでたのにー、<笑い>実は使い勝手がすごく悪かって思っ。

F005: まあ、でも、CDだったらー、(うん)ほんとにそういう、MDなりカ、カセットテープなりに(うん)落すことができるからー。(うん)逆だと難しいじゃん。

F004: そうだねー。確かにね。うん。ふん、ふん、ふん、ふん。(data023)

(30)は、CDは使い勝手が悪いという意見に対して、CDの方が便利な点もあると控えめに反論する際に「まあ」が用いられている。

また、(31)のような控えめに訂正する際に「まあ」が用いられているものもある。

(31) F020: うん、あんた国語の先生だから、すごく<笑い>知ってて、(うーん) *知って*ひととおり知って*。

F025: まあ国語っていうか日本語教育。うん。(ね) うん、そうよねえ。(うん) 学生から質問されたら、何も答えられないわ。ふーん。(data039)

(31)は、「あんた国語の先生だから」という相手の発言に対し、「まあ国語っていうか日本語教育」というように、控えめに相手の発言を訂正する際に「まあ」が用いられている。

3.2.5 補足

(32) F090: 絶対もうね、Dとは、は旅行しないって決めたのね。

F004: うーん、うーん。遊べはするけど一、旅行できない友達っているよね。

F090: まあ、ごはんぐらいは食べるけど。

F004: うん、わかる。わかる。(data022)

(32)は、ある友人と絶対旅行しないと決めたという自身の発言に対し、「まあ、ごはんぐらいは食べるけど」というようにコメントを補足する際に「まあ」が用いられている。

4. まとめと今後の課題

本研究は、『名大会話コーパス』において、「まあ(ね)」が発話の冒頭で使われる場合、どのような意味および用法を有するのかを調査・分析した。まず、「まあ」の基本的意味について、相手の発言を受けとめ、とりあえずの反応を示すとともに、その話題について積極的に話を展開するつもりはないという態度を示すことであると述べた。この積極的に話を展開するつもりはないという態度が文脈によって様々な意味を帯びるのであると考えられる。

また先行研究をもとに、「まあ(ね)」が発話の冒頭で使われる場合、回答要求文に対する応答と、平叙文・感嘆文に対するコメントで使われることを述べた。さらに前者においては、「消極的肯定・同意」「消極的否定・反論」「直接性回避」「応答回避」「視点転換」という用法があることが分かった。一方後者においては、「共感・同意」「意見・考え」「譲歩」「(控えめな)反論・訂正」「補足」という用法があることが分かった。

今回は調査資料として『名大会話コーパス』を用いたこともあり、「まあ(ね)」のイントネーション等については分析を行うことができなかった。今後はドラマなども調査対象とし、イントネーション等も含めた分析を行うことで「まあ(ね)」に関する機能をより詳細に記述したいと考えている。

文献

- 加藤豊三(1999). 「談話標識『まあ』についての一考察」『名古屋学院大学日本語・日本語教育論集』6、pp.21-36.
- 川上恭子(1993). 「談話における「まあ」の用法と機能(1): 応答型用法の分類」『園田国文』14、pp.69-78.
- 川上恭子(1994). 「談話における「まあ」の用法と機能(2): 展開型用法の分類」『園田国文』15、pp.69-78.
- 川田拓也(2007). 「「まあ」のスケールと作用性—副詞的用法と談話的機能の統合に向けて—」『語用論研究』9、pp.37-52.

- 富樫純一(2002).「談話標識「まあ」について」『筑波日本語研究』7、pp.15-31.
柳澤浩哉・馮文彦(2019).「大学講義における「まあ」」『広島大学日本語教育研究』29、pp.9-16.
山田葵(2013).「自然談話における「マア」の使用について：談話上の機能と話し手の情報処理のプロセス」『南山言語科学』8、pp.295-312

関連 URL

コーパス検索アプリケーション『中納言』

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>